

# 町政の 今を問う!

一般質問



6 議員が 12 項目の質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
9	原 孝文 議員	・風力発電における人体への低周波音被害をどう認識しているか ・広域林道「日高中央線」と風力発電計画との関係は
10	山本啓司 議員	・地区の地域農業推進員が担う役割は ・移住・定住施策として、空き家への関わりをもっと
11	堀 辰雄 議員	・ゼロカーボンシティ宣言後の経過について
12	山本喜平 議員	・白馬山脈等の風力発電増設には支援しないように ・新型コロナの5類への引き下げによる町の対策は ・一本化した町立中学校の設立はいつに
13	井藤満人 議員	・日高川町を風力銀座にするのはやめてほしい ・南陵高校の現在の状況と今後の対応は
14	山本芳徳 議員	・ヤングケアラーに関する啓発と実態調査を ・県道御坊中津線の補修について

1

風力発電における人体への低周波音被害をどう認識しているか

医学的研究結果は事実だと思おう



原 孝文 議員

風力発電機を設置した周辺で、目まいや倦怠感、痙攣や心臓障害等の様々な病例が数多く報告されている。

**問** 印南町との境への計画が発表されて以後、直接影響を受ける当事者として学習を積んできた結果、風力発電には大きな問題点があることがわかった。

風車は、耳には聞こえない1〜20ヘルツの高音圧レベルの超低周波音を出す。可聴音の数倍も飛び、風車が大きいほどエネルギーも増す。これが、人や動物に深刻な健康被害をもたらす。

ヨーロッパでは、動物実験などでそれが証明され、風車は人家より数十km離さなければならぬよう規制が強化されている。しかし、日本では規制が無く、住民にも説明が無い。

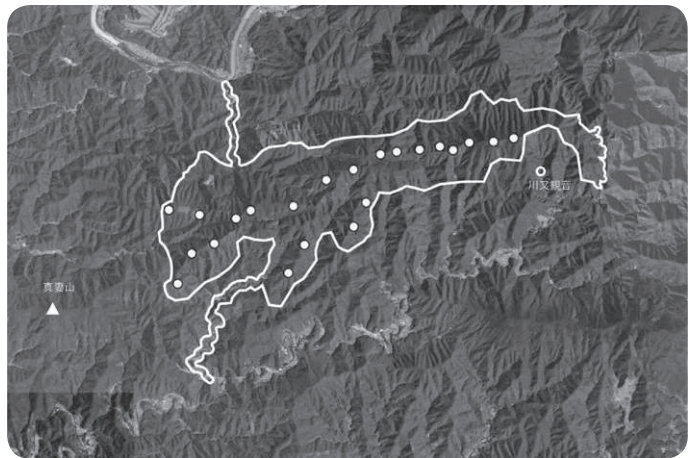
当町には、既に53基が稼働しており、印南町との境への計画は、日本最大の大型機だ。町民の暮らしと健康を守るべき責務がある町政として、どう認識し、対策をしていくのか。

**答** ヨーロッパの医学的研究結果は事実で、

海外や日本各地でも、

## 2 広域林道「日高中央線」と風力発電計画との関係は事業者の意向に沿った道路になることはないと思っている

あろうと思う。民家からの距離も離すよう規制が強められてきている。事業者に対して適切な予測を申し入れており、包み隠さず説明するよう申し入れている。国としても、基準の見直しを厚生部門も含めて早く対応してほしい。



印南町境界への風力発電機配置図

**問** 林道の法線もまだ明らかになっていない段階から、風力発電業者が計画協議に加わっているとは理解に苦しむ。「双方にとって良い方向とするため」との説明があったが、公共事業でこういったことが許されるのか。風力発電基地の建設には、広げて直線的な道路が必要だ。風車が

日本最大級となればなおさらだ。当林道は、森林施業というよりも風力発電事業者の意向に沿った建設道路とされるのではないか。切目川沿いには断層があり、それも逆断層上への道路建設となる。非常にもろい地盤が特徴であり、山裾には民家が点在し、崩壊の危険性が増す。山頂へ

この「地域農業推進員」が担う役割は今後も地域農業活性化に向け活動頂きたい



山本 啓司 議員

## 1 地区の地域農業推進員が担う役割は

今後も地域農業活性化に向け活動頂きたい

**答** 林道は、規定に沿った設計で実施するので、風力発電事業者の意向に沿った道路になることはないと思っている。事業者が加わっているのは、双方で

の道路建設は、極力土を動かさないよう留意する必要があると考えている。日高川の方へ傾斜した逆断層上への建設については、斜面が崩れることが予想され、十分な調査をして設計施工することが重要と考えている。

**問** 現在「地域農業推進員」という名称で活動している各地区の方々がおられる。この「地域農業推進

員」制度は、現在どのように位置づけされ、町の農業行政のなかでどういう役割を求められ、機能しているのか。

**答** 合併後、旧川辺の制度を全町に広げ協議会を立ち上げたが、中津・美山地区では平成24年をもって制度が終了している。

現在、川辺21集落から選任された代表者により構成される「地域農業推進員」は、農業行政と地域の農業者を繋ぐ調整役、橋渡し役であり、今後も地域農業活性化のために活動して頂きたい。主な活動内容としては、補助事業を始めとした農業振興における各種事業内容の周知及び啓発と、農業祭への運営協力をお願いしている。

この3年間は、コロナ禍の影響により情報共有や意見交換の場が設けられていないが、農業者や中山間地域の農業が直面する課題や問題点の解決に向け、総会の開催を検討したい。





空き家となっている家

## 2 移住・定住施策として、空き家への関わりをもっと

他に先駆けて取り組む姿勢が大事

**問** 増え続ける空き家を移住・定住や人口維持対策として活かさないものかと考える。若手職員から斬新な空き家対策の提言があ

つたとのことであるが、町長の考えは。また、都会から地方への移住が注目されて来ており、仲介リノベーション事業者への費

用補助、入居者への家賃補助なども制度設計の対象とすることで、より魅力的な施策となり得ると考えるがどうか。

**答** 使用可能な空き家については、わかやま空き家バンクへの登録を通じ、人口維持対策として取り組んでい

る。若手職員提言の、国の補助事業を活用した改修による入居の促進等興味深い事例は、今後施策の参考としたい。新年度は、新たな移住・定住策として若者・子育て世代をターゲットに、わかやま空き家バンクに登録した物件への入居実績に対し、家族構成に応じた補助金制度を創設する。

移住施策は、他に先駆けて取り組む姿勢が大事なので、議員からの提案も検討していきたい。

## 1 ゼロカーボンシティ宣言後の経過について

地球温暖化対策実行計画を策定中である



堀 辰雄 議員

**問**

「日高川町ゼロカーボンシティ宣言」をしてから1年程経過するが、今現在、何パーセント位達成できたか。今後どのように取り組んでいくのか。

また、家庭用蓄電池購入補助制度の実績はどうか。

**答** 達成率についてはゼロパーセントに近く、まだまだこれからだと思っている。

今後の取り組みについては、令和5年度中に地球温暖化対策実行



太陽光発電施設

計画を策定し、令和6年度以降に町としてのゼロカーボン施策を発表する。

蓄電池購入補助については、令和4年度まで17世帯に交付している。

ソーラーパネル設置補助は、地球温暖化対策実行計画において十分検討していきたい。



# 1 白馬山脈等の風力発電増設には支援しないように 住民への周知を町として協力している



山本 喜平 議員

**問** 建設予定の「中紀第二ウインドファーム」は、本年3月着工と予定していたがどうか。また、計画されている「DREMWind和歌山有田川・日高

川風力」はどうか。

建設計画中のコスモエコパワーからの寄付は、受け取れることをやめるべきではないか。

本町の長期総合計画には「新エネルギー施策の推進として、白馬山脈等における風力発電事業の導入を支援する」と記している。その根拠は何か。

計画されている大型風車の新設と既設風力発電の大型への更新・増設は問題が多い。導入に支援することはやめるべきではないか。

**答** 「中紀第二ウインドファーム」は、本年中の着工を目標に進めているようだ。「DREMWind和歌山有田川・日高川風力」は、環境影響に係る現地調査を実施中と聞いている。

事業者からの寄付金は、令和3年度から家庭用の事業補助金で活

用している。計画中の「中紀第二ウインドファーム事業」に対し、町が何か優遇したり事業を推し進めたりはない。

町として直接の支援はしていない。説明会開催などの住民への周

知に協力している。

計画中の事業者には、地元各地区に丁寧の説明をするとともに、人体への影響については、適切な方法により調査及び予測を行っていくよう申し入れていく。

# 2 新型コロナ5類への 引き下げによる町の 対策は

国・県の動向をみながら  
可能な対応を検討する

**問** 新型コロナは、感染法上2類相当の幅広い感染対策ができる

「新型インフルエンザ等感染症」に分類されているが、5月8日に5類に引き下げられる。

5類化によって、新型コロナ患者への医療費の公費支援や医療機関への財政支援を段階的に縮小されると受診

控えが広がり、コロナ対応の病床が減るのではないか。

新型コロナ対策を縮小することは、「コロナは終わった」との誤ったメッセージを広げ、感染状況をさらに悪化させる事態を招くのではないか。

町は感染対策、支援策を縮小する考えなのか。

か。

**答** 5類に移行すると、コロナ専用病床は確保されなくなる。コロナ患者の治療は、一般の医療機関で行われることになる。

新型コロナウイルスの取り扱いが見直されても、感染防止の個々の対応が必要だ。町としても、国のルールを超えない範囲で感染対策を周知していきたい。



新型コロナ相談センター



5類移行に伴い、国からの財政支援もおそらくなくなると思う。今後、国や県の動向などをみながら、町として可能な対応を検討していきたい。

### 3 一本化した町立中学校の設立はいつに

さらに生徒が減少し、再編の機運が高まったとき

町立中学校を設立する考えなのか。

独立した市町が、それぞれの市町の子どもに責任を持つ教育を実践すべきではないか。

**答** 将来的には、大成中学校及び町立中学校の生徒数が今後さらに減少し続け、地域や保護者から再編等の要望や機運が高まってきた時と捉えている。

大成中学校の再編を考えた場合、御坊市、御坊市教育委員会との協議が不可欠だ。また、藤田小学校区、大成中学校区の保護者、地域や関係者の意見を聞き、集約していく必要がある。

子どもたちへの教育は、市立・町立・組合立にかかわらず、地域や家庭、行政が手を携えてながら、各学校を核として責任をもって見守り育てていくべきものと考えます。

**問** 令和7年4月に開校する中学校に組合立大成中学校は含まれていない。  
小・中学校の適正配置に関する検討委員会の答申では「近い将来には、大成中学校を含めた統合を検討し、町として一本化した中学校の設立を検討することが望ましい」とされていた。何年後に組合を解散し、一本化した

### 1

## 日高川町を風力銀座にするのはやめてほしい

事業者には調和のとれた事業計画を指導する



井藤 満人 議員

**問** 風力発電は、本町と広川・有田川町との境界の白馬山脈にす

でに53基が建設され稼働しているが、この状況についての町長の総括はどうか。

新たに計画中の印南日高川風力には、住民から反対の声がでてくるが反対の考えはないか。

低周波音による健康被害が起こりうる状況になっているが、町独自に低周波の測定を実施する考えはないのか。また、健康調査はしないのか。

日高川町を風力銀座にしないためにどう対応していくのか。

**答** 地域住民等の意向を十分に配慮し、安全対策及び災害対策等の丁寧な対応を行うよう事業者申し入れてくる。

県や町の意見を十分に反映された計画で、地元の同意が得られた場合は反対できない。町内初の風力発電が稼働して13年経過しているが、健康被害に関する声はまだ聞いていない。関係各区长には何か影響があった場合は町に連絡するように依頼している。町独自の調査は、今のところ考えていない。



白馬山脈の風力発電施設

### 2 南陵高校の現在の状況と今後の対応は

学校運営が正常になるよう求めていく

事業者には丁寧な環境アセスの実施と調和のとれた事業計画をすすめるよう指導したい。

### 2

**問** 南陵高校の問題については、以前から町より報告をいただいていたが、最近の情報がなく、県の改善命令に沿った対応がされているのか。

学校側の生徒募集状況、在校生の動向はどうなっているのか。

町へ支払うべき未納金の収納状況に進捗はあるのか。

学校運営が正常とは言いがたい状況の中で、町有地の賃貸借契約に基づく今後の町の対応方針は決まっているのか。

**答** 静岡県は、教員への給与未払問題等で、経営の改善計画を求め、措置命令を出している。行政指導も6回行い、2回目の措置命令も出している。

本年2月4日に予定していた全日制の前期試験は停止され、転校生もいると聞いている。水道料金については、12月末と2月にまとめての入金があったが、まだ3ヶ月分余りで210万円程度の未納額がある。南山スポーツ施設の使用料も50万円未納だ。

あらゆる事態を想定し、必要な対応が生じた場合は、土地賃貸借契約に沿った対応をしていくことになる。

# 1 ヤングケアラーに関する啓発と実態調査を

啓発活動は大変重要であり、今後も継続して取り組む



山本 芳徳 議員

**問** 高齢者等ケアが必要な方の増加と同時に、ケア責任を担う子どもが増加している。全国調査などが行われているが、地方では取り組みが遅れていると考える。

当町では、何名のヤングケアラーを把握しているのか。今後の対応を問う。

**答** 令和3年度にヤングケアラー実態調査が行われた。当町では現在ヤングケアラーとして認識しているケ

アはないが、複雑な家庭環境で生活している児童生徒は、少なからず存在している。今年度、訪問型家庭教育支援事業を開始し、家庭教育に問題を抱えている家庭に対し、家庭訪問を行う支援体制を構築した。また、校内でも資料を使った学習を進め、教員と児童生徒徒に学習を進めたいと考えている。

子どもがのびのび育つ環境を整え、健全な成長を支える取り組みが今後重要であると考える。



# 2 県道御坊中津線の補修について

安全確保のため強く要望していく

国庫補助事業を活用し危険な箇所から補修を行う。また、国庫補助事業が終了後も、県単独予算にて小規模な応急補修工事に随時対応していく。今後においても、必要に応じ予算の増額を強く要望していく。

歩道整備については、江川地内の神田橋から高畑間を令和5年度か

ら工事に着手する予定となっており、山野地区の山野小学校からT字路間については、まもなく測量設計に着手する予定だ。



**問** 令和3年に山野地区から大又口間が開通し、非常に便利な路線となったが、凹凸が目立ち区画線が全く見えない箇所が多く事故が心配され、随時補修工事を進めるべきである。

現在予定されている補修内容と歩道整備の進捗を問う。

**答** 交通量が増加し、危険箇所が増加しているのも把握している。

区画線については、



県道御坊中津線老星地内